

08-04 3)異幅道路 (2面) の設定

機能説明

道路境界線の両端で幅員が異なる場合に、道路斜線を2面道路として扱う場合の領域設定を行います。

実際の道路線は、予め補助線等で編集しておく便利です。

ここで設定された領域は任意領域として保存されます。

生成される測定ポイントは、「与条件設定 / 境界線条件 / 道路高さ」に依存します。

天空率用図形

異幅道路(2面)

メインメニューより(プルダウンメニューからも選択可能)

先ず、「天空率用図形 / 異幅道路 (1面)」を選択し画面を切り替えます。

操作手順

1. 「編集」を選択

編集

2. 「境界線No」を選択 (道路境界線)

「平面図」ウィンドウ上で、ラインを確認

例)

境界線No: 3-3

3. 「基準線指定」を選択

道路斜線

編集図形

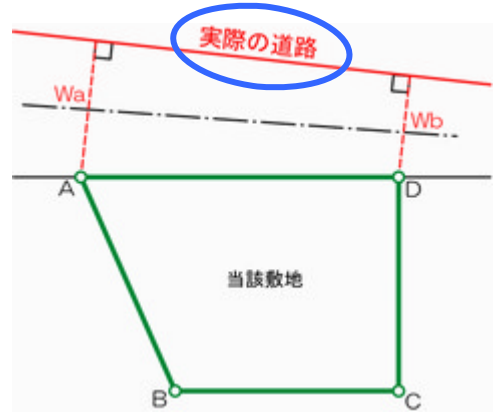
道路境界指定

基準線指定

該当する道路境界線が一つの場合は、「道路境界線指定」は設定不要です

08-04 3)異幅道路 (2面)の設定

4. 平面図」ウィンドウ上、実際の道路を選択
 予め補助線登録した線を選択



5. 該当項目を数値入力、処理内容を設定

項目の詳細説明については、1面も内容と同等 (確認願います)

道路斜線			
編集図形			
<input type="radio"/> 道路境界指定		<input checked="" type="radio"/> 基準線指定	
<input type="checkbox"/> 前面計画建築物を考慮			
境界線No:	3		
建物後退距離:	1.500 m		
幅員(始点):	3.995 m		
幅員(終点):	4.994 m		
[適合]端点処理		[測定点]端点処理	
始点	延長	始点	適合
0.000 m	0.000 m	0.000 m	0.000 m
終点	延長	終点	適合
0.000 m	0.000 m	0.000 m	0.000 m

6. 「確定」を選択

確定

入力内容を破棄する場合は
 「確定」選択前に「中止」を選択

08-04 3)異幅道路 (2面) の設定

領域リストで、“任意領域 (下記2領域)”として登録されているのが確認できます

